

「（仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョン（素案）」に対する意見募集結果

意見番号	ご意見の概要	該当するページ/条項	件数	ご意見に対する市の考え方	修正等の対応
1	この街に不足しているのは、高齢者や赤ちゃん連れがのんびりと自然を満喫しながら散歩でき、木々や鳥の声、水のせせらぎを聞きながら木陰のベンチで休めるような大きな整備された公園だと思う。 コロナ禍の運動不足解消にウォーキングをしようと考えたところ、全く散歩に適した環境がない。今後、ますます高齢化していく中において、家に閉じこもることなく散歩できる環境整備をお願いしたい。	52～53	1	本ビジョンでは、5.まちづくりの展開の展開4誰もが快適に移動できるネットワークの強化として、鉄道駅周辺で居心地の良いウォーカブルなまちなか環境を創出するほか、別所沼公園、北浦和公園や駒場緑地等をつなぐ回遊ネットワークの形成を進めていくこととしています。 ご意見の内容につきましては、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	・素案のとおりいたします。
2	浦和駅北口方面からの浦和パルコへのアクセスの悪さをなんとかしてほしい。駅前を歩いてロータリーを半周しないとたどり着けないため、遠回りになってしまう。稀にロータリーを横切って近道している人がいるが事故が起きかねない危険な状態であり、図書館へもアクセスしにくいいため、改善を要望する。	52～53	1	本ビジョンでは、5.まちづくりの展開の展開4誰もが快適に移動できるネットワークの強化として、ウォーカブル空間創出ゾーンを整理しています。鉄道駅周辺の安全で快適に移動できる歩行者ネットワークの形成や、多様な移動手段に応じた適切な走行環境の整備などにより、居心地の良いウォーカブルなまちなか環境を創出してまいります。 ご意見の内容につきましては、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	・素案のとおりいたします。
3	浦和画家の芸術資源の保全に力を入れるようだが、周囲の芸大生に聞いても誰も「浦和画家」というものを知らない。都内のアーティストがアトリエを構える場所としては、浦和より鎌倉・逗子等湘南エリアのほうが圧倒的に多いように感じる。過去の文化の保全も結構だが、「上野にアクセスが良い」というそもそものメリットを活かし、若いアーティストのアトリエを呼び込むような政策が必要だと感じる。芸術が「伝えられるまち」ではなく「生み出されるまち」にしないと、ますます「浦和画家」は忘れられていってしまうのではないかと。	46～47	1	本ビジョンでは、5.まちづくりの展開の展開1浦和の文化・教育・スポーツを日常で体感し、楽しめる場の創出として、文化芸術保全活用創造ゾーンを整理しています。浦和絵描きの作品などの文化芸術資源に触れる・体感できる・学べる・自らも表現することができる環境の整備により、文化芸術の振興を推進することとしています。 ご意見の内容につきましては、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	・素案のとおりいたします。
4	「レッズファンは日本一のサポーターである」と記載されているが、実情からは程遠いと感じる。サッカーファンの人に『浦和に住んでる』と言うと必ずレッズサポーターのマナーの悪さを指摘される。東京近郊だけでなく、旅行先でも『浦和に住んでる』というだけで、レッズサポーターの素行不良のために肩身が狭い思いをさせられている。 行政はまず、浦和区民が皆レッズファンではないことを認識して、「日本一のサポーター」などと無責任に喧伝するのではなく、レッズサポーターのマナーの向上を強く呼びかけてほしい。これは「浦和」というブランドイメージの問題であり、また浦和の民度が問われている問題だと思う。個人的には、「浦和」と「レッズサポーター」を切り離してほしいくらいに思っている。	19	1	ご意見は、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	・素案のとおりいたします。
5	市役所移転が進められる中で市役所跡地利用も決まっておらず、約2200人の職員が浦和から新都心へ移動するという大きな問題を残したままで（仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョン策定するのは無理があり過ぎると思う。市民を無視し過ぎである。 市役所移転や跡地のパブコメやワークショップなどが行われてきたが、実態は、商店街の方ですら知らない中で進んでいる。 まずは市役所移転について事実を説明し市民の意見をもらうべき。市民の意見をもらう取り組みを浦和市内各駅で行うべきである。 市役所跡地のかたちが決まらない中（仮称）浦和駅周辺まちづくりビジョン策定は早すぎる。	全編	1	本ビジョンは、2050年を見据えた浦和駅周辺のまちの将来像等を示し、市民の皆様や事業者、行政等の様々な立場の方々と共有する指針とするものです。今後はビジョンで示すまちの将来像の実現に向け、現庁舎地の利活用の検討を含む様々な取組を具体化していくこととしております。 新庁舎整備及び現庁舎地利活用に係る市民周知・意見聴取の取組につきましては、令和3年12月の「新庁舎整備等基本構想」策定後、各自治会連合会や近隣住民・商店の方々への説明会、市民を対象としたワークショップなど、様々な手法を用いて行ってまいりました。 令和4年度には、各区の区民まつりにブースを出展し、市の方針についての周知を行いました。 今後も引き続き、市民の皆様へ周知を図りつつ、多くの御意見をいただきながら進めてまいります。	・素案のとおりいたします。

6	<p>浦和市役所移転も平成12年の合併協定書に縛られたことによりSDGsの取り組みを無視して市役所移転解体の方向性で動いた。結果から見ればほとんどの市民は考える間もなく進められた。地元の浦和自治会連合会の人でも市役所移転を知らなかった。地元の合意とはかけ離れている中で市役所移転の議会採決が行われた。浦和駅周辺まちづくりも合併協定書と同じである。大方の市民が知り考え参加して合意形成が行われるかたちが醸成していない。醸成していない中で市民を無視して一部の者たちで進めると縛られてしまうこともあります。(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョンを次の世代の呪縛にして頂きたい。</p>	全編	1	<p>本ビジョンの作成にあたっては、資料編に記載しておりますように、有識者懇話会、浦和の活動家意見交換会、ワークショップ、各会議の傍聴者などへのアンケートなどを実施しました。ほかにも、浦和自治会連合会への説明や出前講座を開催し、様々な手法により市民・有識者からのご意見をいただきながら、作成してまいりました。</p> <p>また併せて、市報やホームページの掲載、まちづくりのニュースレターの発行などによる情報発信をしました。</p> <p>今後も事業を推進する際にも引き続き、市民の皆様へ周知を図りつつ、多くの御意見をいただきながら進めてまいります。</p>	<p>・素案のとおりいたします。</p>
7	<p>浦和駅周辺のまちづくりを行うに当たり現況や特性に問題点や課題が書かれていない。浦和駅周辺の増加率が多いのが30代・40代のファミリー層と記載がある。通勤で都内に行く人が増加しているが駅のキャバの問題があり、現在通勤通学のピークに余裕はあまりないと言える。</p> <p>浦和に住み通勤通学するかたちは限界があると言う認識の中、浦和駅周辺のまちづくりを描かないと意味が無い。他の地域から通勤通学時間を外して来訪してくれる人たちを増やす取り組みがまちづくりビジョンには必要。マイナスの課題や特性が書かれ改善する方向が書かれておらず、その中で約2200人の市の職員が新都心へ移動する。浦和の市役所跡地の課題をクリアしない中ではビジョンは描けない。マイナスの課題を示す中で(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョン描くべきである。</p>	5~7 16~24	1	<p>本ビジョンでは、2.浦和駅周辺の果たすべき役割を整理しています。また、3-2浦和のまちの特長として7分野を切り口に、現状や、市民意向や有識者意見等から整理したまちへの想いを踏まえ、問題・課題をお示ししています。</p> <p>ご意見の内容につきましては、事業を推進する際には、より具体的な問題・課題を整理しながら、検討する必要があると考えており、参考とさせていただきます。</p>	<p>・素案のとおりいたします。</p>
8	<p>(仮称)浦和駅周辺まちづくりビジョンを読んでも浦和に行く気が起きない。期待感も湧かない。プラスアルファが必要だと思う。浦和の現在をさらに魅力的にするビジョンを感じない。浦和の魅力は小さくない駅に複数のデパート。自宅から自転車で駅周辺に普段着で行ける街である。駅の繁華街も生活圏で、東京へも26分で行ける魅力のある街である。浦和を利用する人が増えると住んでる人が自宅の一部をお店にし、隠れ家的なお店が増えるので浦和の魅力となる。浦和の魅力が露地と言うなら露地を生かした街づくりの未来を描かないと魅力が出ない。単なる文化遺産や路地にある商店街なら他の地域にいくらでも魅力ある場所はあるのが現実である。違いを未来へ向けて描かないと他地域から来てくれない。</p> <p>ひとつの提案として浦和は雨をテーマに入れることをおすすめしたい。古い露地には軒下があり、雨の日に軒下を使い動き回った時代が日本にはある。軒下を作ると古い文化遺産を見て回りショッピングもできる。雨の日に露地の軒下で子供も遊べる都心部は現代では少ない。また、防災として市役所跡地の地下をシェルターにし、通常は駐車場や温水プールなどで利用する。駐車場がいつでも止められれば雨の日に利用しやすい街などといった特色になり、人の来訪する可能性が増え期待感が増えると考えます。</p>	29~39	1	<p>本ビジョンでは、4.浦和のまちの将来像の4-3将来像のコンセプトで、文化資源の尊重・継承や、浦和のまちの路地や坂を舞台とした商業・業務環境の将来像についてお示ししています。</p> <p>ご意見の内容につきましては、今後も引き続き、個性を継承し浦和らしさを生かしていくことが必要であるため、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	<p>・素案のとおりいたします。</p>
9	<p>素案を拝見し、いまの浦和の良いところをまとめ、それらを伸ばしていくという方針を感じ取ることができた。たくさん子どもたちが暮らす浦和、持続可能なまちづくりのためには、子どもたちが未来に希望を持つ環境であることが必須だと思う。子どもたちがイキイキと笑顔で、この街で未来に希望を抱いて成長することができる、そして親たち、大人たち、お年寄りも、そんな環境をつくる一員として、浦和で輝きながら生活できる浦和になってほしいと強く願っている。素案の中に、希望を持って街を発展させる、という観点はあまり重視されていなかったように思う。毎日浦和駅を使う者としてプロジェクトの成功をお祈りしており、大変期待している。</p>	44	1	<p>本ビジョンでは、4.浦和のまちの将来像の4-3将来像のコンセプトで、夢につながる環境がある、人生100年時代の生涯を通じて成長ができ、自己実現を通じて幸せを感じています、などの目指すまちの姿やイメージをお示ししています。</p> <p>ご意見の内容につきましては、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	<p>・素案のとおりいたします。</p>
10	<p>全体的な構成としてはよくできていると思う。地域資源として、浦高、一女などがあるので、世界的な活躍をする方を紹介してはどうかと思う。例えば、浦高では若田光一宇宙飛行士や上皇陛下の執刀医の天野篤氏など多くの世界的な、日本を代表する人材を輩出しており、このような偉人がいるということに改めて示すことによって、教育に熱心なまちとして、転入者がさらに増えると思う。また、浦和区出身の入山法子さんという俳優さんがいるので、浦和のまちづくり、PRにぜひ活用いただきたい。</p> <p>以下、一部文言の誤り 4Pにサステナブルサイクル、資料16ではサステナブルとある。 24P常盤公園の前面リニューアルは「全面」。 人、ヒト、資産、財産などの文言の使用の仕方についても御配慮いただきたい。</p>	18 23 資-16	1	<p>世界的な活躍をする方を紹介してはどうかにつきましては、ご意見を参考に、今後、浦和駅周辺まちづくりニュースなどで、紹介していくことを検討してまいります。</p> <p>その他、ご意見の内容につきましては、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	<p>・素案のとおりいたします。</p>
11	<p>P38について、下記の追記を希望する。 ○再生可能エネルギーやカーボンニュートラル化されたガス「e-methane(合成メタン)」を利用したエネルギーシステム、及び緑等の資源を有効活用し、脱炭素化した浦和のまちは、次世代に継承できる自然環境と、安定したエネルギー基盤を備えています。 【理由】「e-methane」はグリーン成長戦略において2050年のカーボンニュートラル達成に向けて成長が期待される15の重点分野のひとつ(次世代熱エネルギー)として注目されている。</p>	38	1	<p>本ビジョンでは、4.浦和のまちの将来像の4-3将来像のコンセプト⑧環境・エネルギーとして、今後のエネルギー基盤について示しており、ご意見の内容につきましては、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	<p>・素案のとおりいたします。</p>

12	<p>P38について、資料の追記掲載を希望する。 [資料：2050年度将来イメージ図（さいたま市ゼロカーボンシティ推進戦略）]</p> <p>【理由】令和4年3月に策定された「さいたま市ゼロカーボンシティ推進戦略」に、「2051年度将来イメージ地域環境共生型ゼロカーボンシティさいたま」として、具体的な事業及びこれらの相互作用や派生する技術により実現を目指す将来像が示されている。</p>	38	1	<p>本ビジョンでは、4. 浦和のまちの将来像の4-3将来像のコンセプト⑧環境・エネルギーとして、資料として、国土交通省やまちづくり・都市デザイン競技の作品をご紹介します。</p> <p>ご意見の内容につきましては、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	<p>・素案のとおりいたします。</p>
13	<p>P40について、下記の追記を希望する。 ○浦和は都心のまちとして、再生可能エネルギーや蓄電池、中圧ガス導管を活用したガス発電等の導入により、災害時でも市民生活・経済活動を継続する強靱さを持っています。</p> <p>【理由】中圧ガス導管は、阪神・淡路大震災、東日本大震災クラスの大地震にも十分耐えられる構造となっており、基本的にガスの供給を停止することはない。中圧ガス導管によるガス発電（天然ガスコージェネレーションシステムや停電対応型GHP等）を追記することで、電源の多重化が実現でき災害時でも市民生活・経済活動を継続する強靱さを持つものとする。</p>	39	1	<p>本ビジョンでは、4. 浦和のまちの将来像の4-3将来像のコンセプト⑨安全・安心として、基本理念のまちとひとの成長の観点から、お示ししています。</p> <p>ご意見の内容につきましては、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	<p>・素案のとおりいたします。</p>
14	<p>P54について、下記の追記を希望する。 ◆災害時でも安全に生活できる避難生活支援（施設・サービス）の充実、及び電力確保の為に環境性に優れた分散型電源としてコージェネレーションの普及拡大</p> <p>【理由】発電所での発電時に排出される熱の約6割は利用されずに廃熱となっているが、需要地の近くで発電を行うコージェネレーションシステムであれば、熱を廃棄せずに利用することが可能。化石燃料の中で天然ガスが最もCO2排出量が少なく、2051年カーボンニュートラルまでのトランジション（移行）期では天然ガスコージェネレーションが低炭素化・レジリエンスに貢献する。</p>	54	1	<p>本ビジョンでは、4. 浦和のまちの将来像や、5. まちづくりの展開についてお示ししており、今後、将来像の実現に向けて、具体的な取組について検討してまいります。</p> <p>ご意見の内容につきましては、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	<p>・素案のとおりいたします。</p>
15	<p>用語解説について、下記の追記を希望する。 資-15P 先行 e-methane（合成メタン）…グリーン水素等の非化石エネルギー源を原料として製造された合成メタン。水素と二酸化炭素（CO2）から都市ガスの主成分であるメタン（CH4）を合成すること。 資-16P 先行 コージェネレーションシステム…天然ガス等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収するシステム。</p>	資-15	1	<p>本編に記載がないため、ご意見の内容につきましては、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	<p>・素案のとおりいたします。</p>
16	<p>本まちづくりビジョン素案は、庁内検討会、幹事会を重ねられ、また有識者懇話会、市民との意見交換会やワークショップ、各種アンケート調査およびまちづくり・都市デザイン競技を通じて、各専門家の皆様によるお考えと、市民のまちづくりに対する思いや関心の高さ、ならびに様々なご意見等が、十分に反映された大変素晴らしい案であると考えている。まちの宝である『浦和のひと』が中心となって、夢でなく30年後のトップランナーとしてビジョンを実現させることが重要であり、これが今の子どもたちや将来に明るい未来と誇りにつながり、このまちづくりに求められていることと考えており、この素晴らしいまちを一緒に作り上げていきたいという思いです。現在、新型コロナウイルス感染症の影響、原油や資材の高騰など、取り巻く環境は厳しくなっていますが、変革し成長し続ける強く美しいまち「浦和」を確立すべく、一緒に研鑽してまいりたいと考えます。</p>	全編	1	<p>本ビジョンでは、6. まちの将来像の実現に向けてとして、市民協働・公民連携でまちづくりを推進することとしています。ビジョン策定後は、多様な主体が参加し、ゆるやかなつながりで連携して、まちづくりエリアプラットフォームの構築を目指しております。</p>	<p>・素案のとおりいたします。</p>
17	<p>まちづくりデザイン競技の「URBAN EXPANSION」提出者です。掲載いただきありがとうございます。 市役所（現庁舎）周辺や、県庁周辺は高度利用化の余地が大いにあると考える。大宮駅・新都心周辺はすでに高度利用が進んでおり、全市的な発展という意味でも、東京側からのゲートウェイとして、浦和の拠点性を高めることが、奥行きのあるさいたま市づくりに繋がると考える。行政機能に加え、民間機能等も取り入れ共同で開発も考えられる。民間オフィス等も誘致すれば、満員電車で東京へ通わなくても、地元で働ける場を創ることもなる。市役所・県庁周辺の公有地には大きなポテンシャルがあり、まちづくりに最大限高度利用していただきたいと思う。</p>	5~7	1	<p>本ビジョンでは、2. 浦和駅周辺の果たすべき役割でお示したように、全市的な発展のために、都心のまちとして浦和のまちづくりが必要と考えております。</p> <p>ご意見の内容につきましては、事業を推進する際の参考とさせていただきます。</p>	<p>・素案のとおりいたします。</p>
18	<p>さいたま市役所移転後の現市役所跡地の活用等についてはなんら触れられていないが、別で議論しているから、ここでは触れないということか。浦和駅周辺は県庁と市役所の存在感が大きく、市役所移転後、どうやって浦和駅周辺の賑わいを創出していかを抜きにまちづくりは考えられないと思う。移転を踏まえた素案を作成しなおすべき、もしくは今後この案を深めていくなかで、議論しビジョンに反映させる、と明記しておくべきかと思う。市役所の移転にはそもそも反対である。県庁と市役所（本庁）が離れるメリットがあるのかが理解できない。20年前の合併協議書により、移転ありきで考えられてきたようにしか思えない。</p>	全編	1	<p>本ビジョンでは、3. 浦和の宝、3-2浦和にまちの特長③県都・行政の現状に、移転が決定し、現在、現庁舎地の利活用検討を進めていることをお示ししています。また、5. まちづくりの展開では、現庁舎地は、展開2の風格ある県都創造ゾーンで、公共施設の建替え等に合わせた都市機能の再編・適正配置を検討していくこととしています。</p> <p>今後は、アクションプランのプロジェクトとして、具体的な検討を進めてまいります。</p>	<p>・素案のとおりいたします。</p>

19	「さいたま」の名称駅をこの機会に設置してほしい。主な都府県では、JRの駅名に都府県名の駅がある。埼玉県には「さいたま新都心」という駅名はあるが、いつまでも新都心ではないので、市役所移転に伴い「さいたま新都心」から「さいたま」に改変して、埼玉の知名度を上げてほしい。	全編	1	本ビジョンのご意見ではないため、素案のとおりといたします。	・素案のとおりといたします。
20	浦和駅周辺まちづくりビジョンを拝見し、大変共感した。UX (UserExperience)は顧客経験価値と訳され、今や自動車や電機業界でも多用され社会全体に浸透しており、UrawaExperience (UX)として、ぜひこの視点も追加して欲しい。市庁舎跡地活用WSに参加したが、そこで議論された市庁舎から等距離にある3駅をベースとした「スマートトライアングル」も浦和駅周辺まちづくりビジョンに大いに貢献すると思う。トライアングルをつなぐスマートモビリティも不可欠。まさに浦和は、ゼロカーボンを含むSDG sへの取り組み、水と緑のコンパクト・NW型都市はグローバルやDXスマートシティと連携し、警察や消防などの公的機関が多く立地する本地域は安全安心で、ウォーカブル推進にも格好であり、国が進めるSociety5.0実現のモデル都市になると思う。最後に、将来像に向けた三つの視点「持続可能性」「人中心」「個性の継承」いずれも共感しますが、「人中心」に付きましては、SDG s視点からは、これまでの成長から撤退への時代移行の中で「地球中心」に少し軸足を移した方が良いと思う。いずれにしても、URAWAが世界一の未来型都市になることを心より祈念致します。	全編	1	本ビジョンでは、5.まちづくりの展開の展開4で、交通環境の特長を生かして、小型モビリティ等による補完も含め、ウォーカブル空間の創出についてお示ししています。ご意見の内容につきましては、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	・素案のとおりといたします。
21	私は生まれてから22年間、ずっとこの浦和で過ごしておりますが、少しでもこの大好きな浦和のまちづくりに自分の声も届けたいと思い、パブリック・コメントを書かせていただきました 「ウォーカブル」という視点について、浦和には現時点でも歩いて楽しい道があるが、夜になるととても暗くなり、少し足を踏み入れづらくなる道もあるので、街灯を整備してほしい。街灯は、道を構成する一つの要素としてその道らしさやその街のアイデンティティを自然と視覚的に訴えてくる大きな存在だと思う。また、元は綺麗なタイル張りだった歩道などが、アスファルトでつぎはぎのように舗装されていると、あまり歩きたいとは思えない。また、街のDX化だけでなく、今一度リアル空間を大事にすることも大切だと考える。文化的もしくは歴史的な建造物を保存するように、普通の何気ない街並みも誰かにとっての思い出の場所であり故郷なので、昔からあるものと新しいものとを共存させて、今までの街の景色を守っていくことも街のアップデートに繋がるのではないか。 今よりもさらに浦和の良さを感じられるウォーカブルな街を目指すのなら、たとえ他の地域と比べて先進的でなくても、本来の街歩きの楽しさを実感できるような、心にゆとりを持てるようなまちづくりも必要だと考える。 今後のさらなる浦和の発展と、素敵なまちづくりに期待しております	全編	1	本ビジョンでは、5.まちづくり展開の展開1の取組①歴史文化保全活用創造ゾーンや、6.まちの将来像の実現に向けて6-2アクションプランの検討で、ひと中心の都市デザインやウォーカブルの事業についてお示ししています。ご意見の内容につきましては、事業を推進する際の参考とさせていただきます。	・素案のとおりといたします。

■ 集計結果

意見提出者数	12名
意見項目数	21件
修正項目数	0件